

議会だより



運動会の様子（寝屋川市写真協会提供）

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
大阪維新の会議員団	2・3
公明党市会議員団	3・4
自由民主党市会議員団	4・5
シン・ネヤガワ議員団	5
日本共産党市会議員団	6
議決結果一覧	7

9月定例会を開催

- ・一般質問で議員 22 人が登壇
- ・（仮称）駅前庁舎改修工事を含む令和 5 年度一般会計補正予算（第 6 号）を可決

令和5年9月定例会

寝屋川市議会は、8月30日から9月22日までの24日間にわたり、令和5年9月定例会を開催しました。この定例会では、市長から提案された32件の議案のほか、議員が提案した意見書4件を審議しました。また、一般質問は、9月12日から14日の3日間行い、22人の議員が市政について質問しました。

意見書

9月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
- ◆脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書
- ◆下水サーベイランス事業の推進を求める意見書
- ◆保育士の処遇改善・配置基準の見直しを求める意見書

人事案件

9月定例会において、次の方々を選任することに同意しました。

- 【監査委員】 廣岡 芳樹氏（再任）
【公平委員会委員】 東谷 宏幸氏（再任）
【固定資産評価審査委員会委員】 平石 貴氏（再任）

議案の概要

寝屋川市立幼保連携型認定こども園条例の制定

「寝屋川市立中央幼稚園及びコスモス保育所の寝屋川市立まあぶるこども園 星の学舎への移行」並びに「寝屋川市立南幼稚園及びあざみ保育所の寝屋川市立まあぶるこども園月の学舎への移行」に当たり、幼保連携型認定こども園を設置するため、制定するものです。

寝屋川市学校給食センター条例の制定

寝屋川市立の小学校2校（楠根・望が丘小学校）及び中学校7校（第一・第五・第六・第七・友呂岐・中木田・望が丘中学校）の学校給食の実施に必要な施設として、学校給食センターを設置するため、制定するものです。

財産の取得

災害時における食料を市立小学校等に備蓄するため、アルファ化米（おにぎり）4万6700食「アレルギー対応品」、アルファ化米（個食）4万7850食「アレルギー対応品」、高齢者食（かゆ）5200食「アレルギー対応品」を取得するものです。

一般会計補正予算

令和5年度一般会計補正予算（第

6号）は、26億4693万9000円を増額するものです。主な内容は次のとおりです。

○（仮称）駅前庁舎改修工事

「1億5277万1000円」

○（仮称）駅前庁舎改修工事に伴う工事監理業務委託料

「479万1000円」

○民間保育所等整備費補助金の追加補正

「6216万円」

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の追加補正

「3892万6000円」

○深谷排水機場排水機能補完ポンプ設置工事

「1800万円」

○（仮称）こども専用図書館整備事業工事変更設計業務委託料

「794万4000円」

○くらし・笑顔創生基金積立金の追加補正

「2億9000万円」

※「（仮称）こども専用図書館整備事業工事変更設計業務委託料」については、全額を減額する修正案が、予算決算常任委員会において提出されましたが、当該修正案は否決となりました。また、本会議においても修正の動議が出されましたが、それについても否決となりました。

これにより、令和5年度一般会計予算歳入歳出の総額は、1057億6402万1000円となりました。

大阪維新の会議員団

持続可能なまちづくり、子育てしやすい

まちづくりのため活発な議論を

中川 健
奥 大輔
川口 肇人
瀬戸 健太
福田 篤志
古田 尚央
森越 清楓

マイナスシリーリング型予算について

問 本市で令和6年度から実施を予定しているマイナスシリーリング型予算の実施単位、縮減比率、効果額の想定は。

答 実施単位は部局ごと。対象経費の一般財源をベースに算定した削減率は4.3%。効果額は予算編成段階によるマイナスシリーリングと予算執行段階による経常経費の抑制等による2つの行財政改革により2つの無償化に係る財源5億円を確保する。

問 理由なく予算を削減される部局からの反発についてどう対応するか。

答 課題があれば、都度協議を重ね、市全体で選択と集中への意識を共有する中で、削減額を確保していく。

小中一貫校建設費用の追加補正について

問 小中一貫校の設置に関する追加補正10億4千万円の金額の妥当性について市の見解を伺う。

答 第三者機関に再積算を委託し、算出された金額が、一般社団法人日本建設業連合会公表資料の建設工事

における価格上昇率と近似していることから妥当と判断した。また、支払った金額が適正に人件費や下請け料金に充てられているかは、工事関係書類の再提出を受け、確認する予定である。

問 広報ねやがわ令和5年8月号の6月補正予算の「トピックス」で、最も規模が大きく、市民に対して最大の誠意をもって理解を求めないといけないはずの本補正を記載しなかった理由は。また、どんな目的をもって広報を発行しているのか。

答 新規事業を中心とし、サービス若しくは事業の対象となる市民に告知する必要がある事業を、優先順位をつけて選定、掲載したものである。広報は、市の情報を市民に分かりやすく伝えることを目的とし、限りある紙面を有効に活用するため優先して掲載すべきものを選定し作成している。

小学校給食の無償化について

問 過去の答弁で、無償化は経常的な財源の確保に課題があるとの認識を示されたが、今後、無償化に向けて財源確保の動きはあるか。

答 現在は、物価高騰の状況を踏ま

え、中学校及び小学校給食の無償化を行っているが、経常的な財源の確保に課題があると認識しており、様々な施策の優先順位を踏まえ、全庁的に検討していく。



子育てしやすいまちづくりへ

児童虐待防止対策について

問 昨年度の身体的、心理的、性的、ネグレクトの種別ごとの虐待相談件数及び、直近5年の推移は。

答 身体的虐待348件、心理的虐待517件、性的虐待4件、ネグレクト841件。過去5年間の推移は、身体的虐待が概ね増加傾向、心理的虐待増加傾向、性的虐待は横ばい、ネグレクトが微増傾向となっている。

問 中核市「寝屋川」として、児童相談所の設置は検討したのか。

答 本市を管轄する児童相談所である大阪府中央こども家庭センターが市内に設置されていることで、市と府で支援と介入の役割分担を行い、複数の機関が関わりつつ相

互に緊密に連携できていることから、現時点で、児童相談所設置の意図はない。

シニアカー補助について

問 75歳以上の方に運転免許証を積極的に自主返納してもらう仕組みの検討について伺う。

答 様々な特典を受けることが可能である大阪府交通対策協議会で作成したパンフレットの周知・啓発を行い、自主返納となる仕組みとして、公共交通の利便性の向上を図り、転換しやすい取組を検討する。

問 ICカードなど他の事業との整合性及び交通政策課と高齢介護室との政策立案について尋ねる。

答 各所管で実施している外出促進事業等について、事業目的や内容、対象等が重複する事業等の整理・検証を進めている。引き続き、交通政策課・高齢介護室・障害福祉課・子育て支援課の4課において、今後の超高齢社会に適応した持続可能な事業となるよう、検討を進めていく。

介護保険料について

問 現在の介護給付費準備基金残高と、そこから次期保険料抑制に活用する割合等の基準はあるか。

答 令和5年3月末現在の介護保険給付準備基金残高は約20億123万円。保険料抑制に活用する割合等の基準はないが、従前から取崩しを行っており、次期「高齢者保健福祉計画」策定においても、被保険者数の推移

や介護給付費の変動を考慮し、基金の活用について検討していく。

問 本市と連携協定を締結している民間企業等との介護予防・健康づくりに関する取組に関して、協定締結先企業へアプローチしていくことは可能か、見解を伺う。

答 「包括ケアシステム」の充実に図り、市民意識の醸成を図る上で、非常に重要であると認識をしている

ことから、引き続き、連携協定締結先企業も含め、様々な機会において提案していく。

不妊治療の助成について

問 不妊治療に掛かる費用負担軽減のための市独自助成を行うべきと考えるが見解を伺う。

答 不妊治療は体外受精等の基本治療は保険適用となったが、保険適用

公明党市会議員団 寝屋川の未来を拓く 情熱と実行力

高見 雄介
岡 由美
坂口 安喜子
武田 由利子
辻谷 恵一
村上 順一

高齢者福祉（介護）について

問 認知症初期集中支援チームの今後の活動において、課題や方向性について具体的に伺う。

答 地域包括支援センターとの連携や、医療・介護の関係機関等との連携を一層進め、早期診断・早期治療を行うことで、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた地域での自立生活の支援につなげていく。

介護家庭の見守り支援について

問 介護家族外出支援の一つとして、会話のできる見守りカメラ設置助成を要望するが、見解を伺う。

答 他市の動向も含め、その有効性や行政による支援の必要性について、調査・研究していく。

介護保険利用の体制について

問 介護認定における申請から結果通知までの期間はどれくらいか。また、負担割合の結果通知だけでも先にできないか、見解を伺う。

答 介護認定の結果通知については、令和4年度では38・0日で、全国平均・府平均より早く通知している。負担割合の結果通知については、介護サービス利用の際に必要な情報であるため、要介護認定の結果通知前に、お知らせすることはしていないが、判定方法等について、引き続き、周知を図っていく。

公園の整備について

問 ボール遊びができるよう、防球

外の治療と併用した場合、費用の全てが自己負担となること等から、市長会を通じて適用範囲の拡充について要望しているところである。引き続き市独自の助成の必要性等について検討していく。

ポイ捨て削減について

問 ゴミのポイ捨ての調査を行ったことはあるか。

ネット、防球フェンスを設置することについて見解を伺う。

答 各公園に特徴をもたせる機能分担の一つとして、ボール遊びができる公園の適正配置について検討を行い、状況に応じて防球ネットや防球フェンス等の設置を検討していく。



ボール遊びをする子どもたち

学びをテーマにしたまちづくりについて

問 尼崎市では、「ひとりの学び」が「みんなの学び」につながることを目指し、「誰でもセンセイ、誰でも

答 以前は、駅前でポイ捨てされたたばこの本数調査をしていたが、コロナ禍において中止しており、現在はアプリを活用して不法投棄されたごみの処理状況等を周知している。

問 美しいまちづくり条例においてたばこのポイ捨てに対して過料を処すと規定しているが、実績はあるか。

答 実績はない。

もセイト」を合言葉に、夏の学びの祭典「みんなのサマーセミナー（サマセミ）」を開催している。サマセミについて担当課の所感を伺う。

答 「サマセミ」は、実行委員会によって運営され、約300の講座を2日間で開催するなど、尼崎市の一大イベントとして実施されており、「学び」という点では本市のまちのせんせい事業にも共通するところがあり、市民の生涯学習を推進していく上で有効な取組であると認識している。

ハチの巣駆除について

問 ハチの巣駆除の補助を行うべきと考えるが、見解を伺う。

答 市民ニーズを踏まえ、近隣他市の動向も注視し、検証していく。

若年がん患者の支援について

問 若年がん患者への在宅療養生活の支援策を要望するが見解は。また、相談窓口の紹介など、積極的な情報発信の取組について見解を伺う。

答 世代特有のニーズはあるもの

の、希少で多様なため、そのニーズに応じた情報提供や相談支援等、国においても課題として取組を推進している。国・府や他市の動向に注視し、事例等を踏まえ検証していく。

傾聴ボランティアについて

問 心の専門医と言われる「精神対話士」資格の費用助成について要望するが見解を伺う。

答 民間資格でもあることから、その有効性や活用の在り方について、

他自治体の事例等を含め調査・研究していく。

学校施設等について

問 夏場の教室で、カーテンを閉めていても教室が冷えず暑いとの声がある。対象となる教室の有無の調査及び改善を求めるが、見解を伺う。

答 学校現場からの相談により認識しており、各学校の状況や要望等を踏まえ、改善に向け対応している。

問 早期に手洗い場の非接触の自動

水栓も含め、小中学校のトイレの洋式化を求めるが、見解を伺う。

食品ロス削減について

問 フードドライブの常設設置前後の、具体的な効果額と数字を伺う。

答 常設設置前の令和3年度約289キログラムから、常設設置後は環境フェアでの回収分を含め約111

自由民主党市会議員団

寝屋川の未来を見据えた政策 (デジタル・住宅・教育) 提言

森本雄一郎
金子 英生
北川 千尋
北川 健治

デジタル技術の活用について

問 職員はリテラシーの向上だけでなく、経営と戦略の知識とデジタル技術を融合できる能力が必要。例えば教育事業において「通学できない人との教育格差をなくす」という戦略を実現する場合、授業動画配信を立案し、システム企画・開発・運用・利活用の手順で実現を図る。このような能力開発も必要だが見解は。

答 効果的なデジタル技術の活用を検討する職員の育成は重要と認識している。

問 情報システムの投資評価の手法として、資本利益率などが考えられるが、どのように評価しているのか。

答 ネヤガワ式予算スケールの投資的予算に位置づけ評価している。

寝屋川教育について

問 就学前保育において寝屋川教育が考える、育てたい非認知能力とは。

答 意欲や協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力などを指す。

問 非認知能力と認知能力との関係性について伺う。

答 子どもが成長していく過程において相互に影響し合っていくものであると認識している。

問 デイベート教育の対象とならない、小学一年生から三年生への取組

について伺う。

答 デイベートにつながるコミュニケーションゲームやタブレットを活用したグループ学習等を効果的に取り入れながら、子どもたちが伝え合うことの面白さを体験し言語能力を育むための取組を進めている。



寝屋川の未来 新校舎棟
間もなく完成
(新学期：令和6年4月スタート)

2軸化構想における 住宅政策について

問 都市計画事業の沿道や駅直結の

9キログラムと大幅に増加している。効果額の算出は困難だが、焼却処理経費の削減や福祉団体等への支援につながっていると認識している。

選挙の投票支援について

問 投票支援カードとコミュニケーションボードの導入について、見解を伺う。

答 投票所において、支援を望まれる選挙人が投票しやすい環境づくりに取り組む中で、投票支援カードの作成等について検討していく。

結節点に関する面的な整備に鑑み、住宅建設や住まいに関して検討が必要だと考える。住宅政策に関する必要な施策の推進に関する見解は。

答 社会情勢の変化や様々な設備の高機能化を反映した住宅や街並みの美観形成を醸成することは重要であり、行政と民間事業者との連携や役割分担の在り方等について検討する。

問 物価高騰、建築資材高騰、労務単価高騰、ウッドショックが与えた新規分譲住宅の取得と一戸建て建替え、分譲マンションへの影響は。

答 建築資材費、工事費等が全国的に高騰となっており、購入価格の上昇傾向による住宅購入に影響が出る。

公用車の管理に関する 対策について

問 自治体の公用車、車検切れの車の使用が最近問題視されている。定期点検整備の管理のあり方は。

答 車検と同様に管理表により定期

点検時期等を把握、点検済みのステッカーについては点検業者により車両前面ガラスに貼り付けている。

問 自動車運行前に、車検証の備付け、検査標章の貼付け、自賠責保険証明書の備付け、運転免許証の携帯、

自動車を運行する際の日常点検整備のチェック項目に、この4項目をプラスすることを提言するが見解は。

答 当該4項目に関して今後、運転日誌に点検項目を追加していく。

シン・ネヤガワ議員団

改選後初の個人質問、

寝屋川市の未来へ質す

板東 敬治
西尾 勝成
馬場 才
久野 須賀子

本市の子育ての未来について

問 待機児童保育施設について、保育二一ズの変化、寝屋川市駅周辺の公共施設の再編を考える中で、駅周辺やリラット等にもつてくること等を検討すべきと考えるが見解は。

答 今後策定予定の「(仮称)公共施設適正化検討方針」において待機児童保育施設の在り方についても検証していく。

問 来年度から新しい市立幼保連携型認定こども園ができるにあたり、開園時間を7時から20時としてはどうか。

答 保育士の勤務時間や人員の確保など様々な課題があるが、今後二一ズを注視していく。

問 病児保育について、市内の受け入れ人数や地域性など、実態についての課題認識や施策は。

答 新たな開設については、医療機関の協力が不可欠であり、引き続き

要請を行っていく。



未来を担う子どもたちのために

問 訪問型の病児保育利用の補助制度などの検討は。

答 先行自治体の実施状況を踏まえ、調査・研究する。

問 放課後デイサービスの土曜日用の声は多いが、現利用者で標準支給量を超えた割合は。

答 全体の約2パーセント。

問 土曜日利用に対して柔軟性を持った判断をすべきと要望するが、適切に判断する。

小中学校のトイレについて

問 トイレを増やしてほしいとの要望があるが、洋式化率が進めば解消するか。また整備スケジュールは。

答 総数は増えないが使用しやすいトイレが増加すると認識する。スケジュール等調整でき次第お示しする。

子ども食堂支援の拡充について

問 毎月の運営費補助金の拡充は。

答 適切な支援の在り方を検討する。

問 小学校や自治会とのチラシ配架等の協力体制の構築を要望するが。

答 保育所など子育て世帯が利用する施設への配架を検討する。

高架事業に伴う香里園の雨水対策について

問 香里園駅西側住民は大雨時の東側雨水の流入が心配だが線路以東の雨水を以西に持ち込ませない考えは。

答 流入しないよう貯留施設の運用などについて協議・検討する。

隣地から越境した枝の伐採について

問 今年4月から一定の要件を満たせば、越境している枝を切ることができるよう民法が改正された。誤解が生じない市民周知への対応は。

答 弁護士会などへ協力を依頼し丁寧な情報発信を検討していく。

地球温暖化への対応について

問 学校施設での対応について、断熱という面からも、樹脂材、2重窓が標準仕様と捉えている。改善する必要があると考えるが見解は。

答 近年の温暖化の状況から必要性は理解しており、今後大規模改修や建替えに際し検討していきたい。

高宮ポンプ場施設見学会を開催

平成28年度から建設工事が進められておりました高宮ポンプ場について、令和5年3月の完成に伴う施設見学会を7月20日(木)に開催しました。

見学会では、ポンプ場内を見学するとともに、施設の概要や設備等についての説明を受けました。



日本共産党市会議員団

介護保険料・国保料

市民の負担軽減を

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

高齢者・障害者施策の拡充と国保料の引下げを

問 市民の負担の重い、介護保険料の引下げを求める。

答 次期介護保険料については、今後3年間のサービス利用量の推計を厳密に行い、適切に設定する。

問 障害者の入所施設、ショートステイ、グループホームの増設を。

答 入所施設の整備については都道府県単位で調整され、府の動向を注視する。ショートステイ、グループホームの整備については国の補助金を活用し、必要な施設整備を進める。

問 制度一元化で大阪は全国一高い保険料になる可能性がある。国保料引下げへの市の努力を。

答 統一保険料については、負担軽減となるよう、意見具申する。

学校施設の改善と子育て支援を

問 低学年の階に洋式トイレのない学校に緊急で洋式化の工事を。

答 学校との連携で検討を進める。保健室に足洗い場の設置を。

問 学校の状況を踏まえ対応する。

答 22歳までの医療費助成実施を。各市の動向等を注視し検討する。

住み良いまちづくりを

問 プールズ事業の再開を求める。

答 打上川治水緑地を軸に、来年からの開催に向け内容を検討している。

問 香里園駅の花壇の定期管理を。

答 定期的な維持管理に努める。

問 田井西公園のテニスコートの工事による閉鎖期間の短縮を求める。

答 早期の工事完成に努める。

問 自衛隊への名簿提供で除外申請の受付を求める。

答 2月の提供に合わせて検討する。

問 市と市民、事業者が協力してベンチを設置することについての見解は。

答 他市の事例を調査し検討する。



寝屋川市駅前のベンチ

全員協議会を開催

全員協議会を開催し、以下の内容について説明を受けました。

【協議内容】

8月16日（水）

- 寝屋川市マンション管理適正化推進計画（案）について
- こども図書館について

9月22日（金）

- 第二次寝屋川市健康増進計画（素案）について

※全員協議会とは…市政に関する主要事業等について共通の認識を持つため、議員全員が集まって開かれる会議です。



問 国松地域のまちづくりにについて地域説明会に市の参加を求める。

答 市として、事業者が行う説明会には参加できないが、現在も市民からの問合せなどに随時対応している。

議会日誌

【7月】
20日 高宮ポンプ場施設見学会

【8月】
10日 幹事長会

16日 全員協議会

24日 議会運営委員会

25日 議会広報委員会

30日 本会議（第1日）／予算決算常任委員会

31日 健康福祉常任委員会（※）

【9月】
4日 文教生活常任委員会（※）

5日 総務都市創造常任委員会（※）

（※）各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催

6日 予算決算常任委員会／議会運営委員会

12日 本会議（第2日）

13日 本会議（第3日）

14日 本会議（第4日）

19日 健康福祉常任委員会協議会

20日 文教生活常任委員会協議会

21日 総務都市創造常任委員会協議会

22日 議会運営委員会／本会議（第5日）／全員協議会

【10月】
2日 予算決算常任委員会健康福祉分科会

3日 予算決算常任委員会文教生活分科会

4日 予算決算常任委員会総務都市創造分科会

11日 予算決算常任委員会

16日 議会広報委員会



9月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
認定第1～8号	令和4年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他5特別会計、2公営企業会計）	閉会中の継続審査
報告第8～10号	令和4年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告（他2件）	報告終結
議案第77号	寝屋川市立幼保連携型認定こども園条例の制定	可 決
議案第78号	寝屋川市立療育・自立センター条例の一部改正	可 決
議案第79号	寝屋川市保健所事務手数料条例及び寝屋川市旅館業法施行条例の一部改正	可 決
議案第80号	寝屋川市学校給食センター条例の制定	可 決
議案第81号	令和5年度寝屋川市一般会計補正予算（第6号）	可 決※
議案第82号	令和5年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第83号	令和5年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案第84号	令和5年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第85号	令和5年度寝屋川市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第86号	工事請負契約の締結（市立小中学校給食センター（親子給食調理場）建設工事（建築主体工事））	可 決
議案第87号	工事請負契約の締結（市立小中学校給食センター（親子給食調理場）建設工事（電気設備工事））	可 決
議案第88号	工事請負契約の締結（市立小中学校給食センター（親子給食調理場）建設工事（機械設備工事））	可 決
議案第89号	工事請負契約の締結（第四中学校区小中一貫校施設整備工事に係る外構工事）	可 決
議案第90号	工事請負契約の締結（田井西公園外1公園整備工事）	可 決
議案第91号	工事請負契約の変更	可 決
議案第92号	財産の取得	可 決
議案第93号	令和4年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分	可 決
議案第94号	令和4年度寝屋川市下水道事業利益剰余金の処分	可 決
議案第95号	監査委員の選任	同 意
議案第96号	公平委員会委員の選任	同 意
議案第97号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意
議員提案第6号	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	可 決
議員提案第7号	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書	可 決
議員提案第8号	下水サーベイランス事業の推進を求める意見書	可 決
議員提案第9号	保育士の処遇改善・配置基準の見直しを求める意見書	可 決

※議案第81号 令和5年度寝屋川市一般会計補正予算（第6号）については、9月22日の本会議において修正案が提出されましたが、当該修正案は否決となりました。

◎議案内容は、市民情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

市議会を傍聴しませんか

市議会は、市政を運営する上で必要な予算や条例等の重要な事項を審議・決定したり、市政が適正に行われているかなどを問いただし、チェックする役目を担っています。

市議会で開催される本会議の様子は、どなたでも傍聴することができます。

ぜひ傍聴にお越しください。

12月定例会の日程（予定）

12月4日（月）＝本会議
 5日（火）＝健康福祉常任委員会・分科会
 6日（水）＝文教生活常任委員会・分科会
 7日（木）＝総務都市創造常任委員会・分科会
 13日（水）～15日（金）＝本会議（一般質問）
 19日（火）＝本会議

◎いずれも午前10時から。議事の都合で変更される場合があります。

※詳細については、市議会ホームページ（右のQRコード）を御覧ください。

